

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語学(言語心理学を含む)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	401
担 当 教 員	武田杏子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
日頃、何気なく使用している「ことば」の仕組みを学び、客観的に考えていく方法を身に着ける。 グループワークを通して言葉について考える力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
言語聴覚士テキスト						
《授業外における学習方法》						
配布レジュメを復習すること						
《履修に当たっての留意点》						
言語学の講義を通して言葉の面白さに気付き、「ことば」について自ら積極的に知ろうとする姿勢が持てるようになればと思います。また、正しい言葉遣いを意識することも重要です。集中講義形式のため、復習は必須です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語学がどのような学問か理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト	
		各コマにおける授業予定	言語学概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声学と音韻論の違いを理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト	
		各コマにおける授業予定	音声学・音韻論			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	モーラ、音節、アクセントを理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト	
		各コマにおける授業予定	音声学・音韻論			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	モーラ、音節、アクセントを理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト	
		各コマにおける授業予定	音声学・音韻論			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	第1～4回の講義内容を確実に理解する、イントネーションを理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト	
		各コマにおける授業予定	復習、音声学・音韻論			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	形態素について理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	形態論		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	意味の分析ができるようになる	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	意味論・語用論		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	文の構造を理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	統語論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	第5回～8回の講義内容を確実に理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	復習		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	文法カテゴリーについて理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	統語論		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語の表記について理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	文字論		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語の特徴を理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	対照言語学		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	第9回～12回の講義内容を確実に理解する、敬語を理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	復習、社会言語学		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	ことばの役割について理解する	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	社会言語学		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容をまとめる	PowerPoint 配布レジュメ	言語聴覚士テキスト
		各コマにおける授業予定	総復習		